

## ～SSH 実践事例～

本校では、各学年で課題研究に取り組んでいます。昨年基礎を学んだ生徒たちは、今年 2 年生となり、自ら課題を見つけ、その課題解決に向けて取り組んできました。本校独自の取組を生徒たちの成長と共にご紹介させていただきます。

考える力を身につけ、答えが 1 つとは限らないこれからの時代を生き抜く力を育てたい……。生徒たちの課題解決能力育成に実りがありますように……。

この取組にあたり、多くの地域の方々にアンケートやお話を伺うなど、様々な形でご協力をいただきました。高校生のこのような取り組みに賛同し、ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。

予期せぬ事態にも対応できる力を育成できるように多賀城高校、頑張ります！

1 年生… 課題研究に取り組むための土台づくり～思考法訓練を中心に実施・探究の型・術を学ぶ～

2 年生… 課題研究実践～グループで取組～

3 年生… 個人論文作成

月 日	生徒の動き	災害科学科	教員の動き
(4～6 月) 5 月まで 休校中	6 月中旬： 十進法調べ	テーマ決定済	4/6～ 4/16 教員指導分野調査 →部集計 6/5 災害科学科の指導教官とグループ分け 6/10 グループ決定・6 月下旬にテーマ決定
6 月末	講義：ガイダンス		○課題研究テーマについて全体指導
7 月	探究活動(ゼミ単位)		○グループ決め⇒普通科：テーマ提出×切 7/10
7 月末	発表会		○テーマとこれからの進め方について
7 月・8 月	夏休み・各班研究		○指導基準日を目安に生徒が指導教官にアポを取り、 面談・助言を行う。中間報告を 1 つの節目とする。実験などの際は指導教官がつく。
10 月	<b>中間発表会</b>		○ゼミ内発表と意見交換を行う。(パワポで発表)
12 月	<b>発表会 2 コマ</b>		○グループ内発表で意見交換・評価を行う。 (ポスター) →上位 9 班決定
1 月	<b>代表発表会 2 コマ</b>		○校内 web 配信で発表・意見交換・評価を行う。外部講師の先生方にお越しいただき、助言をいただく。 (パワポ) →上位 3 班決定
2 月	探究活動		○今後の予定およびまとめ作業
3 月	<b>探究活動 振り返り</b>	○指示	○学年全体：振り返り ○災害科学科：3 月中に英語のアブストラクトに挑戦 ALT の先生より指導・助言をいただく。